

5月20日（月）

田植え

今年度から、学校田の田植えは、3年生と5年生で行うことになりました。当日は、お忙しい中、地域の方々が多数お手伝いに来てくださいました。校長先生がころがしで手植えの準備をしてくださったあと、二上営農組合の沙魚川さんや地域の林タカさんはじめ9名の方に、ご指導をいただき田植えを行いました。

校長先生が、「ころがし」で手植えの準備をしてくださいました。苗を植えるところのしるしがついて、まっすぐに植えられます。



「苗を2、3本にして植えます。」二上営農組合の沙魚川さんが、植え方を教えてくださいました。



地域の方たちがたくさんお手伝いに来てくださいました。

みんな泥だらけになりながらも、歓声をあげ楽しそうに活動しています。



社会科や総合的な学習の時間に、万葉のまちについて調べていくうちに、田んぼが多いことに、改めて気付いた子どもたち。万葉らしさの一つとして、今回の田植えの経験を生かし、米作りについても調べていきたいという声が聞かれました。

田んぼに足を入れると、どろが足につきました。沙魚川さんは、なえのかんりや水のかんりをしてくださるのでうれしいです。早く育ってほしいと思いました。秋になっていねかりがたいです。もちつき大会も楽しみです。
(3年 児童)

はじめ、田んぼの中に入ると足がしずんでいくのでびっくりしました。歩くのも大変で、昔の人はこんな思いをしていたんだと思いました。植えるのも、一つ一つ手でするので、苦労していたんだなと思いました。これからは、米やもち米を残さず、ありがたみをもって食べたいです。
(5年 児童)